



平成24年証券アナリスト第1次試験（秋試験）

解答速報！

2013/1/17 現在

【証券分析とポートフォリオ・マネジメント】

※ 変更（1/17 付）第2問 I 問8：変更前C→変更後D

第1問（15点）

問1 B 問2 B 問3 D 問4 B 問5 A 問6 C 問7 D 問8 D
問9 D 問10 A 問11 C 問12 D 問13 A 問14 C

第2問（28点）

I

問1 C 問2 D 問3 C 問4 D 問5 B 問6 B 問7 A 問8 D

II

問1 C 問2 D 問3 E 問4 C 問5 B 問6 A 問7 D

第3問（32点）

I

問1 C 問2 D 問3 C 問4 B 問5 D 問6 D 問7 E

II

問1 C 問2 B 問3 A 問4 B

III

問1 D 問2 C 問3 A 問4 B 問5 B

第4問（35点）

I

問1 D 問2 B 問3 A 問4 B 問5 D 問6 B

II

問1 B 問2 C 問3 D 問4 B 問5 E 問6 A

III

問1 A 問2 C 問3 C 問4 D 問5 A 問6 E

この解答速報の著作権は、TAC（株）のものであり、無断転載・転用を禁じます。

TAC

第5問(30点)

I

問1 B 問2 C 問3 D 問4 C 問5 A 問6 B

II

問1 D 問2 B 問3 D 問4 A 問5 D 問6 C 問7 A 問8 C
問9 B 問10 C

第6問(40点)

I

問1 C 問2 A 問3 D 問4 B 問5 A

II

問1 D 問2 E 問3 C 問4 B 問5 C 問6 E

III

問1 C 問2 B 問3 C 問4 D 問5 A

IV

問1 C 問2 A 問3 E 問4 C

この解答速報の著作権は、TAC（株）に帰属するものであり、無断転載・転用を禁じます。

なお、この解答速報は、TAC 独自の見解に基づくものであり、正解であることを保証するものではありません。また、後日情報を更新する場合がありますので、ご質問などの受付はいたしかねます。

この解答速報の著作権は、TAC（株）のものであり、無断転載・転用を禁じます。



2012 証券アナリスト 1 次試験（秋）

「証券分析とポートフォリオ・マネジメント」

過去 4 回の問題数・配点は以下の通り。

平成 23 年（春）～平成 24 年（秋）

問 題	分 野	平成 23 年 （春）	平成 23 年 （秋）	平成 24 年 （春）	平成 24 年 （秋）
第 1 問	日本の証券市場	15 問 (15 点)	15 問 (15 点)	14 問 (15 点)	14 問 (15 点)
第 2 問	企業のファンダメンタル分析	16 問 (30 点)	16 問 (30 点)	15 問 (28 点)	15 問 (28 点)
第 3 問	株式分析	16 問 (30 点)	16 問 (30 点)	16 問 (32 点)	16 問 (32 点)
第 4 問	債券分析	18 問 (35 点)	19 問 (35 点)	18 問 (35 点)	18 問 (35 点)
第 5 問	デリバティブ分析	16 問 (30 点)	16 問 (30 点)	15 問 (30 点)	16 問 (30 点)
第 6 問	ポートフォリオ・マネジメント	20 問 (40 点)	21 問 (40 点)	20 問 (40 点)	20 問 (40 点)
合 計		101 問 (180 点)	103 問 (180 点)	98 問 (180 点)	99 問 (180 点)

平成 19 年の通信教育プログラム改訂以降、大問 6 問という形式、および各大問の内容に大きな変化はない。問題内容もいつもの通りあらゆる論点から万遍なく出題されている。良い意味でのパターン化が定着しており、今回もこれといった特色はない。難易度としては従来からの易化・簡潔化傾向に変わりなく、とりわけ今回はかなり易しくなった印象が強い。ただ、第 1 問「日本の証券市場」は回によって、常識レベルで正解できるような問題が多いときと、協会通信テキストを詳細に読み込まないと正解にたどり着けないような問題が多いときがある。今回はどうやら後者で、この意味で第 1 問の「はずれ回（当たり？）」だったようだ。また、第 4 問「債券分析」あたりでは、Ⅲで久々に割引係数（ディスカウント・ファクター）が提示されており、これは「割引係数とは何か」を問いつつ計算処理の負担軽減に配慮しているのかもしれない。